

生成AIの進展等、コンピュータ計算能力の大幅な向上が必要とされる中、能力向上と消費電力低減を同時に実現するための技術ブレークスルーとして量子コンピュータが期待されています。既に様々な方法での実用化が進んでいますが、誤り耐性や汎用性等の課題もあり、技術そしてビジネスとしてのさらなる進展が期待される状況です。

今回のアナログ技術トレンドセミナーでは、量子コンピュータに関して先導的な研究をされている国内の著名な研究者3名をお招きし、最新の研究およびビジネス動向について、ご講演を頂きます。

是非ご参加頂き、活発な議論をお願い致します。

## 日時

2026年 2月26日（木）14：00～17：00

## 会場

**京都テルサ** 西館3階 第2会議室（京都府民総合交流プラザ内）  
※WEB(ZOOM) 配信あり

## テーマ 「量子コンピュータの現状と今後の動向」

講演「量子コンピュータの最新研究開発・ビジネス動向と  
高周波・アナログ技術への期待」  
川畠 史郎 氏（法政大学 情報科学部 教授）

講演「イオン型および中性原子型量子コンピュータの概要と大阪大学での取り組み」  
土師 慎祐 氏（大阪大学 量子情報・量子生命研究センター 准教授）

講演「スケーラブルな高集積量子誤り訂正システムの開発」  
小林 和淑 氏（京都工芸纖維大学 電気電子工学系 教授）

□セミナ参加費：HAB研会員 無料 非会員 5,000円 ※WEB受講の方は2月25日(水)正午までにお振込み下さい  
協賛学会員 3,000円（申込時に「学会名」及び「会員番号」を記載ください）

□交流会参加費：会員・非会員とも2,000円

□申込み締切：2026年2月19日(木) 正午まで

□主催：NPO法人高周波・アナログ半導体ビジネス(HAB)研究会

□協賛：(公社)応用物理学会、(一社)電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ、IEEE Japan Council

★ 参加ご希望の方は、下記の申込書にご記入いただき、切り取って、担当者にお渡しいただくか、  
メール（[h-analog@npo-hab.org](mailto:h-analog@npo-hab.org)）もしくは FAX（075-681-7830）にてご送信下さい。

【お問合せ】 NPO法人 高周波・アナログ半導体ビジネス（HAB）研究会 理事長 南部 修太郎

Tel. 075-681-7825 Fax. 075-681-7830 E-mail. [h-analog@npo-hab.org](mailto:h-analog@npo-hab.org) URL. <https://www.npo-hab.org/050.html>

-----切り取り-----

### 第82回アナログ技術トレンド（HAB研）セミナ 参加申込書

■御氏名			■勤務先		
■連絡先（メールアドレス）					
■会員登録の有・無		会員 / 非会員 / 会員登録希望 ／協賛学会員（学会名： ） 会員番号： ）			
■受講形式	会場受講 / Web(Zoom) 受講		■交流会	参加 / 不参加	
■ご質問・要望等があれば ご記入下さい。					